

宮崎放送

活動名	MRT おはなし会
実施期間	令和 6 年 7 月～令和 7 年 1 月
実施回数	オンライン 2 回
配信期間	ラジオ放送 ① 令和 6 年 7 月 7 日 ② 令和 7 年 1 月 26 日
配信作品数	放送作品数 3 本× 2 回（計 6 本）

【事業実施の成果・課題】

今年度も例年に引き続き、ラジオ放送での読み聞かせを行いました。

ラジオ放送は、子どもたちだけでなく、保護者の皆さんをはじめとする幅広い世代の皆さんにも物語の世界をお楽しみいただける点が良さだと感じております。

今後は、ラジオ放送と合わせて、会場のみなさんと一緒に楽しむことのできる対面（イベント型）での読み聞かせも開催し、より多くの子どもたちに本や物語に親しんでもらいたいと考えております。

【事業担当者およびアナウンサー（講師・読み手）の感想】

＜読み手（朗読者）の感想＞

【第 1 回 ラジオ放送 令和 6 年 7 月 7 日 0A】

＜粉川真一アナウンサー＞

「大仏さま、さあ大変！」創作小噺（アナウンサー創作）を執筆・朗読
 たくさんの仏像たちが出てくる江戸時代の小噺に、現在の風水害時の避難情報を盛り込み、子ども向けの落語にしてお送りしました。

川島恵アナウンサー＞

「大仏さま、さあ大変！」創作小噺（アナウンサー創作）弥勒菩薩役で朗読
 災害時にゆっくり構えている大仏様に一刻も早く避難していただけるよう、なんとしてもお守りしたいという弥勒菩薩の心を、緊迫感を出しながら朗読しました。

＜外種子田結アナウンサー＞

「ハム」外種子田結（アナウンサー創作）を執筆・朗読
 作文や物語を書くこと好きで、小学 5 年生のときに執筆した物語を朗読しました。
 大人になって読み返すと、小学生だからこそ思いついた言い回しや感性に気付き、その表現をそのままに朗読しました。

＜中野義大アナウンサー＞

「二ひきの蛙」新美南吉 朗読＞
 ひともカエルも似たようなことで言い争いをはじめてしまう。実際に言い争いになってしまったときどうしたらよいか。そのヒントがこの話には隠されていると感じています。実際に朗読をする際も、けんかしているときの二匹の感情の移り変わりを意識して朗読をしました。聞いてくださって

いる方にも、そういった部分を感じ取っていただけていたなら、これ以上の喜びはありません。初めての朗読だったため、細部までこだわりぬくまでには力が及びませんでしたが、とても貴重な経験ができたと感じています。

【第2回 ラジオ放送 令和7年1月26日0A】

＜古屋敷沙耶アナウンサー＞

「子どものすきな神さま」新美南吉 朗読

ラジオでの朗読は、聞き手の皆さんの想像で、自由に物語の魅力が広がる世界です。だからこそその難しさを感じつつも、行間に込められた思いや感情なども大切に、何より読み手である自分自身が一番楽しむことを心がけました。

＜澁谷祐太郎アナウンサー＞

「寝ぼけ」夢野久作 朗読

寝ぼける、馴染み深いことを元にした作品を通し様々な方に楽しんでもいただければと思い選びました。

＜古田とわアナウンサー＞

「川へおちた玉ねぎさん」村山篝子 朗読

食卓に並ぶ機会も多い「ジャガイモ・玉ねぎ」が主役の物語なので、子どもから大人まで楽しめる作品だと思い選びました。

【教諭・保育士・子どもたち・視聴者などの感想】

【ラジオ放送 リスナーさんの感想】

- ・災害への備えについて、子どもにも分かりやすくまとめられ、なにより楽しく聞くことができた。
- ・radiko で寝る前に聴いたので、物語の世界に入ることができた。
- ・わかるわかる～と共感する物語や、くすつと笑える物語に触れることができて、子どものころを思い出し、懐かしい気持ちになった。など